

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床病態学Ⅱ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	原 光雅
授 業 概 要					
臨床検査情報の活用法、解析法について学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> 臨床検査を通じて病態解析力を身に付ける。 ある症状が出現したとき、医師は何を考え、どう検査を進めていくかを予測できる。 					
回	項 目	学 習 内 容			担当教員
1-2	生理検査と疾患	検査結果の解釈			湯本 裕美
3-4	一般検査と疾患	検査結果の解釈			原 光雅
5-6	病理検査と疾患	検査結果の解釈			徳永 直樹
7-8	生化学検査と疾患	検査結果の解釈			原 光雅
9-10	血液検査と疾患	検査結果の解釈			藤野 良昭
11-12	免疫検査と疾患	検査結果の解釈			柴田真由美
13	微生物検査と疾患	検査結果の解釈			原 光雅
14	腫瘍マーカーと疾患	検査結果の解釈			〃
15	酸-塩基平衡と疾患	検査結果の解釈			〃
学 習 方 法					
各自に症例問題を与え、質問方式で臨床検査データの判読法を学ぶので臨床医学総論、臨床病態学Ⅰ、関連教科書、配付資料をしっかりと予習、復習しておくこと。					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験（70%）及び小テスト（30%）で評価する 講義終了時に小テストを実施する。 遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 再試験の評価方法：再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、基礎医学実習、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、病理学、感染生体防御学、医学概論、医学検査学演習					
教科書、参考書					
〔教科書〕 最新臨床検査学講座 臨床医学総論、臨床検査医学総論 奈良信雄 他 医歯薬出版					
〔参考書〕 臨床検査のガイドライン2009 検査値アプローチ、症候・疾病・検査の評価法 日本検査医学会・厚生労働省 配付資料					